

企 画 展

松阪の鉄道

～ 松電が走っていた時代から ～



松電と茶与町駅(昭和39年)

令和7年

9.13 土 → 11.30 日



松阪市立歴史民俗資料館

(2階 小津安二郎松阪記念館)



三重県松阪市殿町1539番地(松坂城跡内) TEL&FAX 0598-23-2381

入館料 一般/150円・6歳以上18歳以下/70円

休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌平日

開館時間 9:00～16:30

(10月からは16:00まで)

アクセス

電車: 近鉄/JR 松阪駅下車徒歩約15分

お車: 松阪ICから約10分 市民病院前の松阪市駐車場(無料)をご利用ください。

※藍の縮模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です。

松阪の鉄道は、明治26年(1893)に参宮鉄道の松阪駅が開設されて始まりました。その後、大正元年(1912)に松阪軽便鉄道^{けいべん}がつくられ、後に松阪電気鉄道(松電)となり、昭和39年(1964)の営業終了まで、松阪地域の人々の暮らしに深く関わってきました。この鉄道は、松阪駅から櫛田川中流の大石駅^{おishi}までを結んでいた大石線と、平生町^{ひらおまち}駅から海岸近くの大口駅までを結んでいた大口線から成り、通勤、通学、買い物等での利用と飯南地域の木材の運搬等に利用されていました。

今回の企画展では、松電を中心に、松阪を走っていた国鉄や、現在の近鉄、JR、そして現役引退後、松阪に展示された蒸気機関車C58(通称くろすけ)等の松阪に関わる鉄道資料を展示します。



小片野町を走る松電(昭和34年)



国鉄制帽



松電の通票(タブレットとスタッフ)
(松阪市文化財センター蔵)



松電本線の終点 大石駅



名松線開業50周年記念乗車券
(個人蔵)



近鉄 松阪駅名標(個人蔵)



松電ジオラマ(個人蔵)



松電 行き先表示板(個人蔵)



JR 名松線沿線駅
スタンプ(個人蔵)



C58(くろすけ)ナンバープレート

ギャラリートーク 「松電ものがたり」

10月12日 日 14:00~14:45

場所：松阪市立歴史民俗資料館1階

講師：木野本和之(松阪市文化財センター職員)

定員20名・申込不要

聴講無料(入館料必要)



松阪市立歴史民俗資料館
(2階 小津安二郎松阪記念館)

〒515-0073 三重県松阪市殿町1539 TEL&FAX 0598-23-2381